取手北相馬保健医療センター
医師会病院
連携室だより
こころ
発行：令和８年10月
第52号

病院長のご挨拶

活力ある超高齢社会をめざして

取手北相馬保健医療センター医師会病院　病院長　山縣 邦弘



早いもので、当院の病院長に着任して半年が経過いたしました。この間、地域の皆様と職員一同に支えられながら日々の診療に取り組んでまいりましたこと、あらためて御礼申し上げます。

本年７月、国の「地域医療構想」の新たなガイドラインが示されました。2040年の取手北相馬地域における医療需要を見据え、当院がハード・ソフト両面でどのような将来像を構築していくべきか、2028年度までに一定の結論を出すことが求められています。取手北相馬地域でも全国と同様、若年人口の減少と高齢化が進んでおり、高齢者の増加は今後も高い医療需要が続くことを意味します。当院としても、この地域医療構想の検討を通じて、地域に必要とされる病院のあり方を模索してまいります。

こうした中、当院では医師会の先生方が各種検査を外来予約なしで直接ご予約いただける体制を従来から整えております。あわせて外科系・内科系の専門医による専門外来も開設しておりますので、特殊検査が必要な場合や、難病・高度医療を要する疾患、追加検査の要否等でご判断に迷われる場合には、ぜひ当院の各専門外来へご紹介ください（詳細は外来担当表をご参照ください）。検査から精査・加療まで、当院をシームレスにご活用いただき、患者さんに最善の医療をお届けできればと存じます。

また私たちが果たすべき役割は、加齢に伴う生活習慣病の重症化を未然に防ぎ、皆様お一人おひとりが活動的で活力ある生活を長く続けていただけるよう、より積極的に関わっていくことだと考えております。フレイルやサルコペニアに陥ることなく元気に過ごしていただくための医療、いわば「ヘルスサービスと医療の境界領域」への取り組みが、今後ますます重要になってまいります。身体機能の維持にとどまらず、心臓・腎臓・呼吸器など内部臓器のリハビリテーションもあわせて進め、当院が地域の中心となって、活力ある超高齢社会のモデルを築いてまいりたいと考えております。

その第一歩として、以前から準備を進めてまいりました「健康応援プログラム～いつまでも健やかであるために～」を、この秋よりいよいよ開始いたします。慢性腎臓病をはじめ、糖尿病・高血圧・うっ血性心不全など生活習慣病に起因する疾患を抱える患者さんを主な対象としております。詳しい内容は３ページにご紹介しておりますので、ぜひご覧ください。

今後とも変わらぬご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

特集

リハビリ科の現場から～心と身体に寄り添って

「明日も来たくなるリハビリ」を提供します

当院の理学療法士・作業療法士・言語聴覚士は総数22名。病棟ごとのチームに割り振られ、１人の患者さんに対して１～２名、あるいは理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の３名体制で担当しています。患者さんとのお付き合いは、長ければ３～４カ月になりますし、退院後も引き続き外来で通院していただくケースもあります。重症度が高い患者さんの人工呼吸器や管が徐々に外れ、苦しいリハビリの末に社会復帰される姿を見ることは、何よりの励みになります。私たちは患者さんと伴走するような関係性なので、退院後に元気な顔を見せてくれるとうれしくなりますね。

一方で、特に独居の高齢患者さんは、「他人に迷惑をかけたくない」という思いが強すぎるのか、目標を持ちにくく、リハビリに前向きになれないケースもあります。そんなときは、まずは何気ない会話から始めて悩みを聞いたり、外に連れ出す機会を作ったりして、少しずつ心をほぐしていきます。

院内で行うイベントや作品づくりも、そんな取り組みの一環です。訓練室の入口と、外来の薬剤科前には折り鶴を使った作品が展示されていますが、患者さんが一つひとつ折ったものです。手指のトレーニングになるほか、集中力の向上、作業中のコミュニケーション、そして完成したときの達成感を味わうことにつながります。桜や紅葉、うちわなど、季節ごとにテーマを変えて作品を作ったり、書道の得意な患者さんにはタイトルを書いてもらったりしています。ほかには、お茶会やゲーム、桜の花見など、少人数で楽しめる場も設けています。

リハビリテーション科科長　松井 弘子

医療機関の皆さまへ

当院では、取手市医師会に所属する先生方から紹介された患者さんのリハビリ支援もしていますが、最近では大学病院や市内の病院から、急性期治療を終えた患者さんのリハビリを依頼されるケースも増えています。

私たちは「明るく安心して、明日も来たくなるリハビリ」をモットーに、患者さんが楽しく通え、通っているうちに少しずつ良くなっていくような場の提供を目指しています。リハビリが必要な患者さんがいれば、当院に紹介をお願いします。スタッフ一同、全力で支え、地域の先生方のお役に立ちたいと考えています。



リハビリ科のスタッフ。リハビリ見学として、患者さんが身体を動かす姿や、必要な介助をご家族に理解してもらう機会を設けています。

院内には、患者さんたちが作った作品が飾られています。



連携医療機関の先生方へ

生活習慣病管理のための入院プログラム

「健康応援プログラム ～いつまでも健やかであるために～」開始のご案内

このたび当院では、多職種チームによる生活習慣病管理のための入院プログラム「健康応援プログラム～いつまでも健やかであるために～」を開始いたします。貴院に通院中の患者さんのうち、生活習慣の改善に課題を抱える方がおられましたら、ぜひご紹介をご検討いただきたく、ご案内申し上げます。



■ プログラムの概要

生活習慣病を有する65歳以上の患者さんを対象とした、５泊６日（月曜入院・土曜退院）の入院プログラムです。

入院中は個別の面談・問診を行ったうえで、医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・検査技師などのスタッフが患者さんお一人おひとりの状態に応じた生活習慣のアドバイスを行い、理学療法士が身体機能を評価しながら運動療法を実施します。多職種チームが目標達成に向けて患者さんを支援することが本プログラムの特徴です。

本プログラムは、患者さんがご自身の疾病に対する理解を深め、生活習慣改善への意欲を高めることを目的としています。退院時には、毎日の血圧・体重の測定、食事への意識づけ、服薬アドヒアランスの維持、歩行時間の延長など、退院後の目標を患者さんとスタッフが一緒に設定します。

■ 対象となる患者さん

- 65歳以上で、貴院に通院中の生活習慣病を有する方、または健診で生活習慣病を指摘された方
- 対象疾患：２型糖尿病、高血圧症、脂質異常症、慢性腎臓病（CKD）、肥満症、代謝機能障害関連脂肪肝炎（MASH）
- ご自身の生活習慣を見直し、改善したいという意思のある方

■ 適応外となる患者さん

- 重度の臓器障害（心不全､呼吸不全､腎不全､肝不全）を有し、運動療法に制限がある方
- 抗がん剤治療中の方
- 要介護２以上の方
- 認知症等により、プログラム内容の理解が困難な方

退院後のフォローアップ

退院後の診療は、従来どおり貴院にて継続していただきます。当院では退院約６カ月後に外来にて、プログラム参加前後の意識・行動の変化を、目標達成度とあわせて評価する予定です。

貴院からのご紹介 → 当院で入院（5泊6日） → 貴院で診療継続 → ６カ月後 当院で評価

ご紹介方法

参加をご希望の患者さん、または詳細を確認されたい患者さんがおられましたら、当院連携室（TEL／0297-78-6183）へご連絡ください。内科外来でプログラムの内容をご案内いたします。
地域の先生方からの多くのご紹介を心よりお待ち申し上げます。
今後とも医療連携へのご協力のほど、何卒よろしくお願いいたします。（内科　斎藤 知栄）



外来に設置しているパンフレットです。

病院からのお知らせ

外来診療のご案内

午　前	月	火	水	木	金	土
内科	矢藤 宮本	矢藤 榎本	熊谷 馬場	熊谷	海老原 三木	海老原 山岡
外科	鈴木 谷	田部井	田部井	江原	鈴木 谷①	田部井
整形外科	中島 深井	吉田 深井 山田(弘)	中島 吉田	吉田 *2 大西 ①③⑤ *1 山田(弘) *2	中島 深井 山田(弘)	当番医師 新
循環器内科		渡邉	渡邉	松下	飯岡 *3	五味①
心臓血管外科						徳永②④ 加藤③⑤
神経内科			林(明)			林(明)
腎臓内科	山縣	斎藤	斎藤	山縣	山縣②-⑤	
脳神経外科					丸島	
呼吸器内科		安藤				
呼吸器 外科・内科					菅井 ①③⑤	
乳腺外来	谷				谷①	
肝臓内科				屋良		
ストーマ外来				①③⑤		
内視鏡検査	幸地	当番医師	幸地	幸地	当番医師	当番医師
大腸内視鏡検査				幸地●		

午　後	月	火	水	木	金	土
内科		屋良			熊谷	
血液内科				担当医師 *4		
循環器内科		榎本 *5			飯岡 ④ *7	
脳神経外科		角 *6				
頭痛専門外来		角 *6				
呼吸器内科		安藤				
呼吸器 外科・内科			関根			
緩和ケア内科	工藤●再	工藤●初	工藤●再		工藤●初	
膠原病 リウマチ科			山田(萌)		三木 *8	
乳腺外来			小山 *6			
頭頸部形成外来	畠中 ③ *4					
大腸内視鏡検査	幸地●		幸地●	幸地●		

【午前】受付 8:20 ~ 11:30 ／診療 9:00 ~　【午後】受付 11:30 ~ 16:30 ／診療 13:30 ~

①②③④⑤＝第 1・2・3・4・5 週(例：①③⑤＝第 1・3・5 週、②-⑤＝第 2~5 週)
●＝予約制　初＝初診のみ　再＝再診のみ　新＝新患のみ
*1 受付 10:30 まで
*2 受付 11:15 まで
*3 9:30 から診療／受付 11:00 まで
*4 受付 15:00 まで
*5 13:00 から診療／受付 15:30 まで
*6 14:00 から診療
*7 受付 14:00 まで
*8 受付 15:30 まで

ホームページのご案内

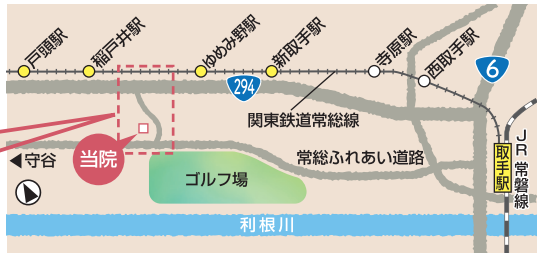


https://www.ishikaibyouin.or.jp/

スマホ・タブレットにも
対応しています！

交通アクセス





●取手駅西口から車で約11分。
●取手（東口・西口）、新取手、ゆめみ野、稲戸井、戸頭の各駅からは送迎バスがあります。
●常総ふれあい道路・国道294号線には案内板が出ています。案内板で曲がると、あとは道なりです。
●当院は、TAC取手グリーンスポーツセンターの向かいにあります。

連携室だより「こころ」　第52号　令和 8 年 10 月発行

公益社団法人取手市医師会　取手北相馬保健医療センター医師会病院　医療連携室
〒 302-0032 茨城県取手市野々井1926
TEL／0297-78-6183（直通）・0297-78-6111（代表）　FAX／0297-78-6184（直通）

受付時間／平日 8:30～16:30・土曜日 8:30～12:00